

科目名 (Eng)		特別研究(Graduation Thesis Research)							
担当教員		ビジネスコミュニケーション学専攻担当教員							
対象学年等		専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		ビジネスコミュニケーション学専攻	1	通年	必修	8	(360)	専門	C
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(D-3), (D-4), (D-5), (E-4), (F-1), (F-2), (F-3), (F-5)								
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：4), 5), 6)								
JABEE基準1(1)との対応：(d-(1)), (e), (f)									
授業の概要と方針		本専攻の担当教員のもと、2年間にわたり、同一のテーマについて文献調査、調査、討論等の能動的実践を通して、創造的な研究開発能力を育成する。							
到達目標		実践的ビジネスマンとして相応しい専攻科修了論文を作成する。 ①新たな課題に取り組み、問題解決に向けて自主的に計画を立案できる。 ②研究を継続しステップアップできる能力を身につける。 ③調査、分析結果を論文にまとめる能力を身につける。 ④中間発表会や学会等で論理的なプレゼンテーションができる。							
授業計画									
1. 坪井晋也 (1)テーマ：流通企業の経営的研究 (2)内容：これまで流通企業を対象とする研究は、主に流通、マーケティングの研究領域において議論されてきた。新たな視点、アプローチの必要性認識のもと、経営的側面からの分析検討を試みる。									
2. 森川 治 (1)テーマ：ゲーム理論に関する研究 (2)内容：ビジネスセミナーで身につけたゲーム理論の知識をビジネス・経済学（特に産業組織論）に応用するとともにゲーム理論の概念を拡張することを目的とする。									
3. 渡部美紀子 (1)テーマ：企業評価に関する研究 (2)内容：企業の安全性、収益力、活性度、発展性、そしてキャッシュフロー等の財務的観点から分析し財務数値以外のデータも考慮に入れて、企業を総合的に評価することを目的とする。									
4. 芥川一則 (1)テーマ：地域の特性を考慮した地域政策に関する研究 (2)内容：地方への権限委譲が進むなか、地域特性を考慮した地域振興策が求められている。地方政府が地域進行策に投資する場合のその方法と効果について検討する。									
5. 平塚 力 (1)テーマ：企業の経営改革に関する研究 (2)内容：企業は、自らに求められる外部環境（市場ニーズ、生産技術等）に内部環境（組織の構造や戦略等）を対応させている限り業績を向上させることができる。今回は企業の業績の変化に着目し、その背後にある経営の変化（経営改革）について解明する。									
6. 松本行真 (1)テーマ：①業界・企業の競争に関する研究②商品・ブランド戦略に関する研究③地域活性化に向けた手法・枠組みに関する研究（①～③から1つを選択） (2)内容：①と②については各社の事例収集を行い、マーケティングのフレームに従い分析を行う。③についてはいくつかの視点があり、例えばマーケティング的なアプローチや社会学的なアプローチがある。①～③いずれにおいても「事例収集・調査」→「分析」→「提案または予測」のプロセスを学ぶことを目的とする。									
7. 米本 清 (1)テーマ：応用ミクロ・計量経済学的視点による地域分析 (2)内容：地域の生産者・消費者・公共サービスのいずれかに関し、応用ミクロ経済学・計量経済学的観点から学習し研究を行う。									
試験について									
評価方法		研究の成果、報告書の成績、発表会の内容等を総合して評価する。							
教科書									
参考書									
関連科目									
履修上の注意		担当教員に分かれてセミナーを行う。							